

平成 19 年度ホタテガイ採苗情報（第 2 報）

平成 19 年 5 月 1 日
発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝は少ない状況です。」

1 ラーバの出現状況

5 月 1 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 $200 \mu\text{m}$ 未満が 8 個/トン、 $200 \mu\text{m}$ 以上が 5 個/トンと前回調査時（合計 23 個/トン）より減少しました。

調査時の水深 10m 層の水温は 9.3°C と、前回調査時と同じで、平成 9～18 年の平均値より 1°C 高い値になっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

4 月 25 日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。

各調査点の付着数は、宮古地区の白浜で 60 個/袋である他は、30 個/袋以下であり、前回調査時とほぼ同じ値となっています。



図 調査点と付着稚貝調査結果

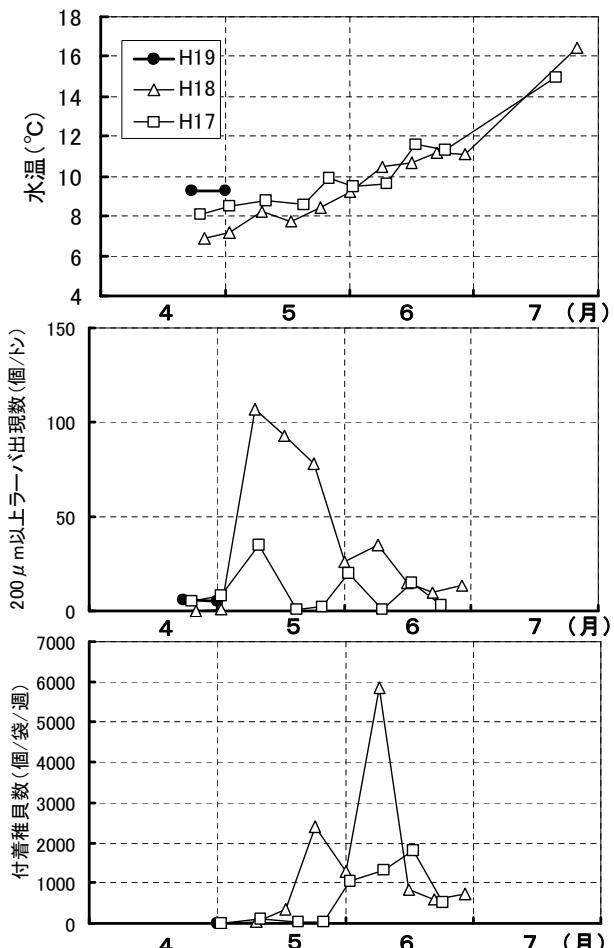


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 1 割が付着直後の個体でした。

県中南部では、ラーバの出現数、付着稚貝数ともに少なく、採苗器の投入適期ではありません。

ただし、今後、付着稚貝数が急激に増加する可能性もありますので、採苗器をいつでも投入できるように準備するとともに、今後の調査結果には十分注意してください。

次報は、5 月 10 日に発行する予定です。